

## 「造園技術者のためのドローン技術研修会(中級編)」を開催しました (2020年2月20日)

令和2年2月20日(木)、富士市の「富士市立富士体育館」において、「造園技術者のためのドローン技術研修会(中級編)」を開催し、本会会員19名が参加しました。

### ○ 開催趣旨

既にドローンを使用している会員や造園業務へのドローン活用を検討している会員を対象にドローンの中級技術(測量、消毒等)の概要を学ぶ技術研修としました。

### ○ 研修の内容

ドローンビレッジ富士代表 望月紀志氏((株)望月庭園)を講師として、「ドローンの概要」、「測量への活用」、「農薬散布等への活用」、「機材と認定プログラムの選択」等の内容の講座を行いました。

特に、「測量」ではドローンアプリの設定方法など詳細な部分まで踏み込んだ解説があり、「農薬散布」では大型の専用ドローンの説明や散布の課題、農業利用への将来的展望など、盛りだくさんの内容でした。途中には測量に対応出来るドローンを使用したデモフライトが行われました。

中級編はドローンに関心が高い受講者が参加したため、講義中や終了後にも熱心に質疑応答が行われました。



講師の望月氏



講義を受ける本会会員

	
<p>測量に対応するドローンの機能説明</p>	<p>農薬散布用ドローンの機能説明</p>
	
<p>講義修了後に講師に熱心に質問する受講者</p>	<p>測量等に対応するドローンのデモフライト</p>

[「造園技術者のためのドローン技術研修会\(中級編\)」を開催しましたを詳しく見る](#)

### 「造園技術者のためのドローン技術研修会(初級編)」を開催しました(2020年2月12日)

令和2年2月12日、磐田市中泉の「静岡県立磐田農業高等学校 体育館」において、磐田農業高等学校と当協会が共催で「造園技術者のためのドローン技術研修会(初級編)」を開催しました。

#### ○ 開催趣旨

当協会は昨年から新たな分野の技術研修に取り組んでおり、11月の「ロボット芝刈機技術研修会」に続き、各業界において活用の取組が進んでいる「ドローン」を取り上げ、造園業務への利用に焦点あて

た技術研修会を「基礎を学ぶ初級編」と「測量や消毒など造園関係分野への利用を学ぶ中級編」に分けて開催しました。

「初級編」については、高校生のインターンシップ事業の一環として造園を学んでいる「磐田高等農業高校環境科学科」の生徒と一緒に研修を行いました。

#### ○ 研修の内容

ドローンビレッジ富士代表 望月紀志氏((株)望月庭園)を講師に「ドローンの活用事例紹介」、「ドローンの概要説明」、校内を撮影した「動画の上映」を行った後、体育館内でドローンを実際に飛行させ撮影等を行う「デモフライト」を行いました。

受講者は、磐田農業高等学校環境科学科 2 年生 38 名、県関係者1名、造園緑化協会会員 13 名の計 52 名でした。

ドローンの実演飛行では多くの生徒が身を乗り出して講師の話を聞き、研修終了後にも熱心に質問する生徒もいました。



講義(ドローンの活用事例紹介)



休憩時間中にドローンの説明を受ける協会会員



[「造園技術者のためのドローン技術研修会\(初級編\)」を開催しましたを詳しく見る](#)

### 中部支部がインターンシップ事業を実施しました (2020年1月31日)

令和2年1月31日(金)、静岡市駿河区の静岡県立美術館において、当協会中部支部が静岡農業高校のインターンシップ事業の全体研修会を開催しました。

当日の参加者は生徒22名、指導する協会員は33名でした。

生徒たちは、協会の16社に分かれ3日間、剪定、伐採などの造園の仕事を経験しました。最終日は美術館周辺の樹木剪定を全体研修会として取り組みました。





中部支部がインターンシップ事業を実施しましたを詳しく見る

### 東部支部が講演会を開催しました (2020年1月30日)

令和2年1月30日(木)、沼津市大手町のプラザヴェルデ406号室において(公社)静岡県造園緑化協会東部支部主催で「東部支部講演会」が開催され、支部会員18名が参加しました。

講師は、静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター上席研究員の加藤徹氏で、「ナラ枯れの現状について」と題して、ナラ枯れ被害の現状と対策について講演を行いました。

県東部地区は近年ナラ枯れの被害が大きいことから、県の研究機関から最新の知見を得るため今回のテーマが選ばれました。

講演では、国内及び県内の被害の現状や被害発生の原因と対策などが具体的に説明され、参加者は熱心に聞き入っていました。



[東部支部が講演会を開催しましたを詳しく見る](#)

### 静岡市まちかどコレクション2018-'19 表彰式 (2020年1月10日)

令和2年1月10日(金)、静岡市葵区の静岡市役所本館で「静岡市まちかどコレクション2018-'19 表彰式」が開催されました。この行事には当協会も後援しています。

#### (1) 表彰式

各部門の受賞者は下記のとおりです。

(部門1) まちかど景観コレクション

「大賞」 呉六名店街

「優秀賞(地域資源賞)」 由比本陣公園周辺

「優秀賞(価値創造賞)」日本色(NIHON IRO)

(部門2)まちかど看板コレクション

「大賞」風土菓庵原庵

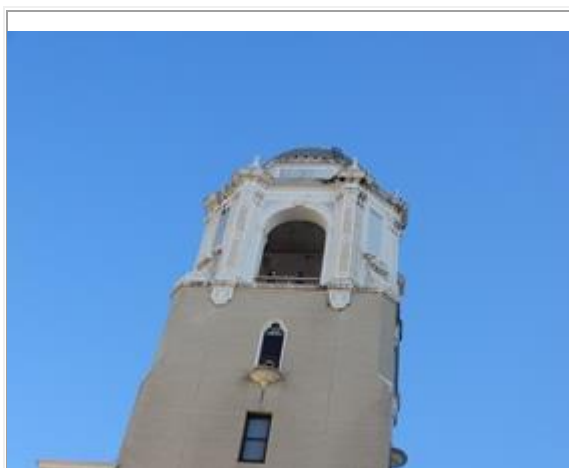
「優秀賞(ツーンとアクセント賞)」旬葉旬魚 造りの山葵

「優秀賞(みるい字体賞)」茶町 KINZABURO

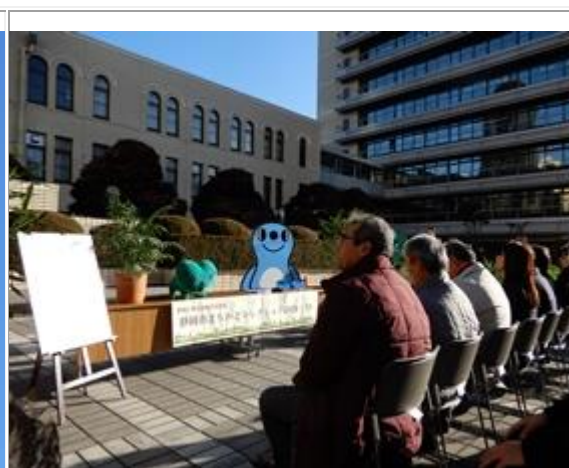
田辺静岡市長からの表彰状の授与は静岡市役所あおい塔最上階で行われ、観客席は本館外部広場でした。その後、受賞者は静岡市役所玄関前で田辺市長と記念撮影を行いました。

## (2) 講演会・動画上映

選定委員の紹介の後、委員の土屋常葉大学造形学部教授から、受賞箇所の優れた点などの内容の講演がありました。受賞箇所の紹介動画の上映もあり、この動画は翌日行われ「SDGsコレクション」で上映するそうです。



表彰式授与が行われた静岡市役所あおい塔



観客席は塔下の本館外部広場





田辺市長からの表彰状授与	田辺市長と受賞者の皆様
	
静岡市役所本館玄関前での受賞者記念写真	土屋教授による講演会

[静岡市まちかどコレクション2018-'19 表彰式を詳しく見る](#)

### 櫻井会長らが川勝知事に年始挨拶をしました (2020年1月7日)

令和2年1月7日(火)、櫻井会長、森副会長、市川副会長が県庁を訪れ、川勝静岡県知事に年始挨拶をしました。知事室には(公財)静岡県グリーンバンク、静岡県花の会の役員も一緒に入室しました。知事挨拶の後、吉林副知事、鈴木くらし・環境部長にも年始挨拶を行いました。

	
川勝知事との名刺交換(櫻井会長)	吉林副知事との名刺交換(市川副会長、森副会長)

[櫻井会長らが川勝知事に年始挨拶をしましたを詳しく見る](#)



## 「緑の宝」2020年新年号が出来ました (2020年1月6日)

「緑の宝」2020年新年号は[こちら](#)です。

「緑の宝」2020年新年号が出来ましたを詳しく見る

## 「はままつフラワーパーク」と「浜名湖ガーデンパーク」へ行ってきました (2019年12月17日)

令和元年12月17日(火)、特別支援学校での打合せ後に、浜松市西区の「はままつフラワーパーク」と「浜名湖ガーデンパーク」に行ってきました。

花の少ない時期でしたが、「はままつフラワーパーク」では温室でのクリスマス用のポインセチアや屋外のサザンカ、「浜名湖ガーデンパーク」では青いシクラメン「セレナーディア」の小径や遊歩道沿いのツワブキなど見頃の植物があり楽しめました。



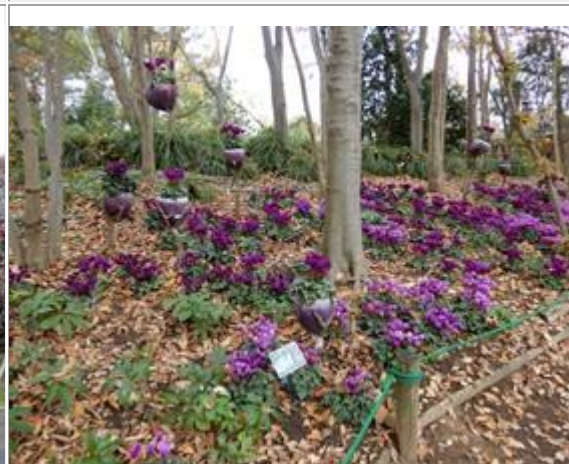
【フラワーパーク】クリスマス用のポインセチア



【フラワーパーク】クリスマス用のポインセチア



【フラワーパーク】園内のサザンカ



【ガーデンパーク】青いシクラメンの小径



【ガーデンパーク】百華園の花壇



【ガーデンパーク】遊歩道のツワブキ

[「はままつフラワーパーク」と「浜名湖ガーデンパーク」へ行ってきましたを詳しく見る](#)

### 松くい虫対策における予防剤樹幹注入技術研修会 (2019年12月5日)

令和元年12月4日(水)、5日(木)の2日間にわたり、沼津市の東部総合庁舎と千本松原において、県森林整備課と当協会の共催で、「松くい虫対策における予防剤樹幹注入技術研修会」を開催しました。受講者は行政関係者や造園業者など25名(当協会員13名)でした。

初日は、県森林整備課の上家課長代理の開催挨拶の後、同課の清水主査から「松くい虫被害とその対策」と「樹幹注入剤の正しい施工方法及び県仕様書改訂について」の講義があり、続いて4社の薬剤メーカー((株)エムシー緑化、(株)ニッソーグリーン、井筒屋化学産業株式会社、(株)理研グリーン)による補足説明がありました。最後に清水主査から「形成層障害の仕組み」の講義と「質疑応答」が行われました。

2日目は、樹木医の大石春夫氏((有)大石造園)と薬剤メーカー((株)ニッソーグリーン)担当者を講師に、2班に分かれて野外実習を行いました。

(施工の順序)

- ①樹脂の出方を見てマツの健康状態を把握する
- ②施工ラベルの作成(鉛筆書き、ガンタッカーは縦留め)
- ③胸高直径を計測し必要薬剤量を把握する
- ④薬剤注入位置を選定し印を付ける
- ⑤注入位置の樹皮をはぎ取る(樹皮が厚い場合は特に必要)
- ⑥ドリルによる穿孔(角度、方向、径、回転方向を確認)
- ⑦注入剤の差し込み(穿孔した人が方向に注意して施工)
- ⑧加圧注入容器の場合は、ノズルに細い棒を通して気泡を取り除く



- ⑨自然圧の注入剤は底(上側)に空気穴を開ける
- ⑩30分後に確認して薬剤が減っていない場合は、別の場所に移し替える
- ⑪施工ラベルに施工日、薬剤注入量、施工位置を鉛筆で記入する
- ⑫殺菌癒合剤を注入孔に入れてから、被覆塗布剤を被せる
- ⑬容器等の回収を行う



【4日】森林整備課上家課長代理の開会挨拶



【4日】森林整備課清水主査による講義



【4日】講義を受ける研修会参加者



【5日】樹幹注入方法の事前説明



【5日】大石氏による施工注意点の説明



【5日】実習状況(ドリルによる穿孔)

[松くい虫対策における予防剤樹幹注入技術研修会を詳しく見る](#)

### 第12回静岡県景観賞(取組発表・最終審査・表彰式) (2019年11月28日)

令和元年11月28日(木)、静岡市葵区の静岡音楽館AOIの7階講堂において、「第12回静岡県景観賞(取組発表・最終審査・表彰式)」が開催されました。

最初に川口審査委員長から、「本県の景観賞は、都市景観賞時代から数えると32回目となり、全国有数の歴史を有する賞である。また、過去の受賞箇所を分析すると、創造性、協働性、継続性の3つの共通点がある。」と挨拶がありました。

続いて、20件の応募箇所から「書類審査(8月22日)」、「現地審査(9月18・19日)」を経て最終審査に残った4件の取組発表が行われ、最終審査を経て各賞が決定しました。

最優秀賞には、袋井市の「旧東海道 久努(くど)の松並木」が選ばれました。地元住民の地道な努力により松並木を復活し、マツのデータ管理や補植活動など、この活動が今後も続くことを期待される内容が審査員に評価されての受賞です。

優秀賞には、静岡市の「日本平夢テラス」と伊東市の「大丸山における森づくり」の2箇所が受賞しました。

奨励賞は、島田市の「蓬萊橋を望む木製フォトフレーム」でした。



	
<p>川口審査委員長の開会挨拶</p>	<p>「久努(くど)の松並木」の取組発表</p>
	
<p>最優秀賞の表彰状授与</p>	<p>最終審査箇所の展示ブース</p>

[第12回静岡県景観賞\(取組発表・最終審査・表彰式\)を詳しく見る](#)

### 静岡県建設産業セミナー2019 (2019年11月26日)

令和元年11月26日(火)、静岡市葵区の静岡市産学交流センタープレザンルームで静岡県建設産業団体連合会主催の「静岡県建設産業セミナー2019」が「担い手不足を補う、特定技能外国人受け入れへの取組み」をテーマに開催されました。

石井会長の主催者挨拶の後、第1部では建産連内の企業を対象とした「外国人労働者雇用の実態調査の報告」及び株式会社渡邊鐵鋼所からの「技能実習生当の受け入れ企業の先進事例」の発表がありました。第2部では、国土交通省中部地方整備局県政部建設産業課 栗本課長補佐より「建設分野における特定技能外国人の受け入れに関する制度について」の講演がありました。



## 静岡県建設産業セミナー2019を詳しく見る

### 「ロボット芝刈機 技術研修会」を開催しました (2019年11月5日)

令和元年11月5日(火)、袋井市沖山梨の(株)ハケ代造園「ふーまの店」において「ロボット芝刈機 技術研修会」を当協会主催で開催しました。

#### ○研修の趣旨

当協会では昨年のツリークライミングに続き、造園技術に関係する新たな分野の技術研修を実施していますが、今年度最初の技術研修会は芝生管理業務の参考となるよう近年性能が大幅に向上し、県内の芝生地において活躍し始めている「ロボット芝刈機」の技術研修会を計画しました。

#### ○研修の概要

(株)ハケ代造園担当職員を講師に、「ふーまの店」において概要説明を、実際にロボット芝刈機を運用している掛川市内において現地視察を行いました。参加者は協会員14名、県関係者2名の合計16名でした。

#### ○概要説明

ロボット芝刈機は毎日芝を刈ることにより、芝の刈カスの回収が無いことがメリットがある。ロボット芝刈機には3つの必要条件があり、条件1は屋外の100ボルト電源、条件2は芝刈機が自動で充電するチャージステーション、条件3は芝刈範囲を限定するワイヤーの設置である。ロボット芝刈機は2時間動いて1時間充電を繰り返し連続で広い面積の作業を行う。雨水等の上からの水には強いが、水没には弱いデメリットがある。最近ではGPSを搭載し、スマートフォンにも対応している機種もあるとのこと。

## ○現地視察

敷地内に5台のロボット芝刈機を使用している現場を視察した。日本に2台しか導入されていない四輪駆動のロボット芝刈機は通常では考えられない傾斜で芝刈を行っていた。また隣接する場所ではロボット芝刈機の運用について説明があった。

	
ロボット芝刈機の概要説明	概要説明を熱心に聞く参加者
	
急傾斜地で芝刈を行う四輪駆動のロボット芝刈機	ロボット芝刈機の運用の説明

[「ロボット芝刈機 技術研修会」を開催しましたを詳しく見る](#)

## 富士山 初冠雪 (2019年10月23日)

気象庁は10月22日(火)、富士山が初冠雪したと発表しました。平年より22日遅く、昨年より26日遅いそうです。

協会事務所の窓からも初冠雪が確認出来ました。



富士山 初冠雪を詳しく見る

### **「第17回日比谷公園ガーデニングショー2019」に行ってきました（2019年10月21日）**

「第17回日比谷公園ガーデニングショー2019」は、首都東京の中心に位置する日比谷公園を会場にガーデニングショーを開催し、日比谷公園から「花と緑・環境」のメッセージを世界に発信するとともに、こらからの都市における「花と緑のライフスタイル」を提案することを開催趣旨とし、期間は令和元年10月19日（土）から10月27日（日）までの9日間、開催されます。令和元年10月21日（月）に会場を訪れました。

#### ○ 行事概要

・東京都千代田区の都立日比谷公園の噴水広場、第二花壇周辺において、ガーデンコンテスト作品展示、おもてなしモデルガーデン等の展示、企業・団体テント等出展、コンサートほかの催事が行われます。





入場ゲート(日比谷通り側)



会場内の様子(第二花壇内)

(1) ガーデンコンテスト作品展示

- ・ガーデン部門、ライフスタイルガーデン部門、コンテナガーデン部門、ハンギングバスケット部門の4部門で応募されたコンテストの作品が展示されています。
- ・各部門の展示作品から、国土交通大臣賞、農林水産大臣賞、環境大臣賞、東京都知事賞等が選ばれ、発表されていました。



**【ガーデン部門】**  
東京都知事賞を受賞した作品



**【ライフスタイルガーデン部門】**  
国土交通大臣賞を受賞した作品

(2) おもてなしモデルガーデン等の展示

- ・おもてなしをテーマとした「おもてなしモデルガーデン」や、花やカラーリーフで作り上げた「おもてなしフォトスポットガーデン 2019」が展示されていました。

(3)企業・団体テント等出展、コンサート他の催事

- ・会場内では42の出展テントにおいて、企業・団体が体験会や販売等を行っており、各テント大盛況でした。
- ・訪問した日には、噴水広場特設ステージにおいて「都市緑化キャンペーン 2019」が開催されており、全国都市緑化広島フェアの紹介、ガーデンシクラメンの寄せ植え講座、花苗の配布、海上保安庁音楽隊コンサート等が行われました。



草花や園芸資材の販売テントは多くの人で賑わっていました。



「都市緑化キャンペーン 2019」では、全国都市緑化広島フェアの紹介がありました。

[「第17回日比谷公園ガーデニングショー2019」に行ってきましたを詳しく見る](#)

**「第12回静岡県景観賞(取組発表・最終審査・表彰式)」案内 (2019年10月18日)**

静岡県より11月28日(木)に開催される「第12回静岡県景観賞(取組発表・最終審査・表彰式)」の情報発信の依頼がありました。第12回静岡県景観賞を主催する「美しいしずおか景観推進協議会」には当協会も会員となっています。

「第12回静岡県景観賞(取組発表・最終審査・表彰式)」のチラシは[こちら](#)です。

[「第12回静岡県景観賞\(取組発表・最終審査・表彰式\)」案内を詳しく見る](#)

**第46回静岡県建設業労働災害防止大会 (2019年10月11日)**

令和元年10月11日(金)、静岡市葵区の静岡労政会館において「第46回静岡県建設業労働災害防止大会」が開催されました。

石井支部長の開会挨拶に続き、支部長表彰、谷静岡労働局長ほかの来賓祝辞、安全の誓い、特別講演がありました。支部長表彰(功績賞)には、当協会の天龍造園建設株式会社の鈴木勝己氏が受賞されました。



石井支部長の開会挨拶



支部長表彰受賞者の皆様

[第46回静岡県建設業労働災害防止大会を詳しく見る](#)